

## 【令和3年度第5回目業務報告 報告内容】

岩手県陸前高田市に赴任して約9ヶ月が経過しました。今回の業務報告では、12月16日に実施した、令和3年度陸前高田市自主防災組織リーダー研修会の様子や、12月26日に閉講式を迎えました、令和3年度陸前高田市防災マイスター養成講座の様子について、報告したいと思います。また、11月6日（土）及び7日（日）に岩手県釜石市で開催された、「ぼうさいこくたい2021 in 岩手」の内容や、市内の生活状況として、年末に市内で雪が降った際の様子などについて、合わせて報告したいと思います。

（報告内容）

- 1 令和3年度陸前高田市自主防災組織リーダー研修会について
- 2 令和3年度陸前高田市防災マイスター養成講座について
- 3 「ぼうさいこくたい2021 in 岩手」について
- 4 市内の生活状況について

- 1 令和3年度陸前高田市自主防災組織リーダー研修会について

令和3年12月16日（木）に、令和3年度陸前高田市自主防災組織リーダー研修会を開催しました。本研修会は、地域防災活動の核となる自主防災組織において、指導的役割を担う人材を育成することを通じ、自主防災組織の活性化及び地域防災力の強化につなげることを目的として、平成27年度より毎年市独自で開催しているものです。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、今年度においても例年開催している時期には開催することができませんでしたが、例年実施している会場よりも大きな会場を確保し、座席間隔を空けるなど、感染症対策を実施した上で開催することとなりました。



研修会の様子①



研修会の様子②

今年度は、岩手大学農学部森林科学科の井良沢道也教授を講師にお招きし、「岩手県内を中心とした最近の土砂災害の発生状況等について」というテーマで講演を実施していただきました。当日は、市内の自主防災組織の中心となる、各地区コミュニティ推進協議会代表者及び各自主防災組織代表者等を中心に約80名が参加されました。

陸前高田市には令和3年4月1日現在自主防災組織が81組織あり、組織率は66.4%となっています。市内においても沿岸の地区などでは東日本大震災以前組織されていた自主防災組織が震災後消滅してしまった地域があったり、山間部の地域などでは震災以前から現在まで自主防災組織が組織されたことがない地域があったりするなど、現在でもなかなか組織率が向上しない複雑な事情があります。

「自助」「共助」の中心的役割を担う自主防災組織の活性化は全国的な課題であるため、陸前高田市で経験した内容を亀岡市に帰任した後も活かしていきたいと考えています。

## 2 令和3年度陸前高田市防災マイスター養成講座について

令和3年12月26日（日）に、令和3年度陸前高田市防災マイスター養成講座の閉講式が開催されました。本講座は、東日本大震災で甚大な被害を受けた本市が、将来の大規模災害の発生に備え、防災に関する知識や技術を習得し、地域における防災リーダーとして活躍できる人材「陸前高田市防災マイスター」を養成する事業として、平成30年度より市独自で実施している事業です。

今年度は36名の方から受講申し込みがあり、令和3年5月から12月までの毎月、やさしい日本語や気象に関する基礎知識などの座学の他、防災に関するゲームや市内にある水門や防潮堤、東日本大震災津波伝承館などの防災施設の見学など、全8回の講座を受講されました。



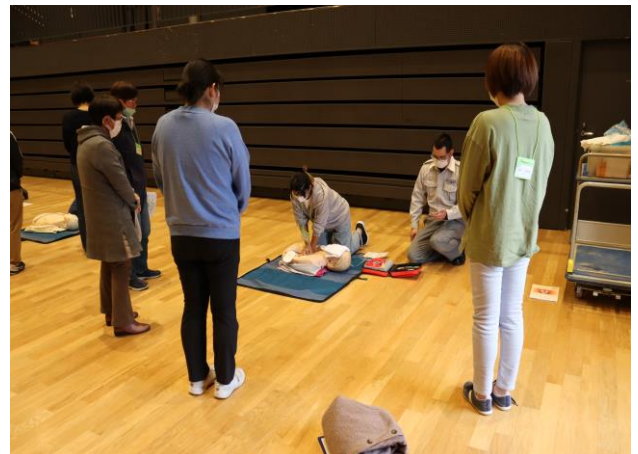
講座の様子①（東日本大震災津波伝承館見学）



講座の様子②（防潮堤見学）



講座の様子③（避難所運営ゲーム）



講座の様子④（普通救命講習）

12月26日（日）に開催された第8回講座では、静岡大学防災総合センターの牛山素行教授を講師にお招きし、「近年の豪雨災害事例から学ぶこと」と題して、講演を実施していただきました。その後、各講座のポイントを再確認するための確認テストを受験していただき、一定数以上の講義に出席していただくなどの要件を満たした方々を「陸前高田市防災マイスター」として認定するため、閉講式を実施しました。



今年度は28名の方々を防災マイスターとして認定し、市長より認定書を交付していただきました。防災マイスターの認定を受けた方は、今後、市内の自主防災組織での中心として活動していただいたり、市内の小中学校や企業、施設などで開催される防災に関する講座や防災訓練の講師や運営補助などをボランティアとして実施していただいたり、市内の様々な分野で活動していただくことが期待されます。



閉講式の様子①（市長挨拶）



閉講式の様子②（記念写真撮影）

本講座については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、今年度においても、全国的な感染拡大などの影響で講座の開催を延期したり、オンラインでの講義形式への変更を余儀なくされたりするなど、様々な感染症対策を施したうえでの講座開催となりました。また、講座に参加された住民の方々についても、防災に関する関心が非常に強い方が多く、講座の運営を通して、私自身も大変勉強になることばかりでした。今後も、本講座が住民の方々にとって少しでも防災に関する関心を高めていただける機会となるよう、より良いものにしていきたいと思っております。

### 3 「ぼうさいこくたい2021 in 岩手」について

令和3年11月6日（土）及び7日（日）に岩手県釜石市で「ぼうさいこくたい2021 in 岩手」が開催されました。本大会は、国民の防災に関する意識向上を図ることを目的として、平成28年より毎年開催されているものです。今年度は、東日本大震災の発生から10年が経過したことを受け、岩手県で初めて開催されました。

会場となった岩手県釜石市までは陸前高田市から車で約1時間程度の距離であったため、私も7日（日）に会場へ足を運びました。

今年度は、コロナ禍ということもあり、オンラインと岩手県釜石市内を中心とした会場とに分かれ、防災関係の自治体・企業・団体などの活動状況の紹介やブースの出店、イベントの開催がありました。

令和4年度は神戸市中央区にある「阪神・淡路大震災 人と防災未来センター」の開設20周年に当たることから、10月22日（土）、23日（日）に兵庫県神戸市内で開催される予定です。

近畿圏では初開催となるため、興味のある方は一度参加してみたいと思います。



会場の様子①（地震体験車による防災体験）



会場の様子②（トイレトレーラーの展示）  
（写真は山梨県北杜市の車両）

#### 4 市内の生活状況について

12月に入り、岩手県でも毎日寒い日々が続いています。陸前高田市は岩手県の中でも沿岸に位置しているため、県内でも盛岡市などの内陸と比べて積雪はそれほど多くありませんが、クリスマス頃からの寒波により、陸前高田市においても、市内各地で積雪がありました。



2021年12月27日の様子①（陸前高田駅周辺）



2021年12月27日の様子②  
（市役所庁舎より中心市街地方面を撮影）

このように積雪があった際には、自宅や職場周辺での雪かきが必要であったり、日中の予想最高気温が氷点下となる真冬日や予想最低気温が $-4^{\circ}\text{C}$ 以下になる夜、出張や帰省などで長期間留守にする際などには、水道管の凍結を防止するため、水抜きを実施する必要があるなど、慣れない作業が必要となります。今後も同僚の方々に教わりながら、少しずつ慣れていきたいと思えます。